



上山市立宮川小学校

令和8年度 学校経営基本構想

日本国憲法・教育基本法・学校教育法・学習指導要領
児童の権利に関する条約・こども基本法

第7次山形県教育振興計画

【ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり】

上山市教育振興計画基本理念

【ふるさとを愛し 夢と志をもち 共に未来を拓く人づくり】

学校教育目標

みずから学び、よく考える子ども<かしこく>
やさしく、思いやりのある子ども<やさしく>
からだもこころも、元気な子ども<たくましく>
わを広げ、よさを認め合う子ども<みんなで>

めざす学校像

子どもの人権が保障され、一人一人の個性が輝く学校

育成を目指す資質・能力

- 課題を自分事として、解決に向けて試行錯誤しながら主体的に学ぶ力
- ありのままの自分を受け入れたうえで、相手の立場にも思いをはせ、行動する力
- 自らの健康と安全に関心を持ち、高めようとする自己管理能力
- 多様な他者を価値ある存在として受けとめ、認め合い協働する力

児童の実態・課題

- 真面目に、意欲的に学ぶことができる。
- 授業でのなかまとの交流、縦割り班での交流など、かかわり合う活動がスムーズにできる。
- 他者の個性を受け止め、接することができる。
- △ 未知の課題に対し、自分なりに見通しを持って挑戦したり、解決策を考えたりすることが苦手。
- △ 運動機会が減少している。また、生活の乱れと自らの健康を、結び付けて考えていない。
- △ 協働が相乗効果を生むには至っていない。

経営方針

1 安全最優先 2 生徒指導実践上の視点 3 付けたい力の焦点化と評価 4 家庭・地域との連携 ⇒ **信頼される学校**

経営の重点

1 子どもどうしがつながる学び

みずから学び、よく考える子どもの育成
<かしこく(学習指導部)>

1 主体的・対話的で深い学びの推進

- ・校内研究を核とした授業改善と年間計画や単元計画の工夫(カリマネ等)
- ・「教師－児童」と「児童－児童」のバランスを考慮した単元・授業づくり【重点1】
- ・授業でのICTの積極的活用(まずは挑戦)

2 基礎学力の確実な定着

- ・デジタル教材も活用した反復学習
- ・「書く」機会の確保
- ・読書活動の推進(電子書籍も活用して)
- ・家庭での学習習慣の確立(授業との往還)

3 特別支援教育の充実・整備【重点3】

- ・支援や配慮を要する児童の的確な把握と実態に応じた適切な支援
- ・校内特別支援体制の確立

2 自己受容

やさしく、思いやりのある子どもの育成
<やさしく(生徒指導部)>

1 基本的な生活習慣の確立

- ・日常生活の徹底(挨拶・返事・時間・整頓等)
- ・よりよい学校生活づくりに主体的に取り組む児童会活動(児童の意見表明権の保障)

2 自己受容・自己存在感を支える取組

- ・自己決定の場の提供と、取組の過程を振り返り、結果を受けとめる場の設定【重点2】
- ・一人一人に役割があり、自己存在感を与える学級活動と学校行事の充実

3 思いやりの心と規範意識の育成

- ・道徳科を要とした道徳教育の充実
- ・多様な集団(学級、縦割り班、他)での活動を通して共感的な人間関係を育む
- ・「語る会」等での情報共有により、全職員で全児童を見守る(安全・安心な風土の醸成)

3 特別支援教育の充実

4 地域連携と安全の両立

からだもこころも、元気な子どもの育成
<たくましく(健康安全指導部)>

「いのちと安全月間」(4・11月)の設定

1 安全教育の推進

- ・PTA、地域、関係機関と連携した安全の確保(交通安全、クマ対応等)
- ・安全指導の徹底
- ・危機(防災)意識と危機(災害)発生に対応できる判断力の育成

2 いのちの教育の推進

- ・健康教育推進と自己管理能力の育成(心と体のチェックシートの定期活用)
- ・規則正しい生活リズムの定着
- ・喫煙薬物乱用防止教育、メディア教育の推進

3 体力と運動能力の向上・挑戦意欲の喚起

- ・自己記録更新をめざす教科体育の充実
- ・マラソン週間(春・秋)、縄跳び(冬)

わを広げ、よさを認め合う子どもの育成(かかわりを重視した教育活動の推進)<みんなで(教務部)>

1 子どもとじっくり向き合うことができる教育課程の編成と評価・改善

- ・1時間1時間の授業に、教師も子どもも集中できる教育計画
- ・子どもの生活リズムの安定を最優先した日課、週時程、年間教育計画(教職員の時間確保)

2 豊かな人間関係を築く、魅力ある教育活動の推進

- ・ねらいと評価、取り組み期間を明確にした「感動」「実感」「納得」が生まれる特別活動(学校行事)の実践
- ・他者とのつながりを広げ、深める教育活動(学級、縦割り班、地域・他校との交流等)の推進

3 学校運営協議会を機能させ、郷土を愛し誇りを育む、地域に根ざした「ふるさと学習」の構築

- ・学校運営協議会と連動した地域学校協働活動の充実と、安全確保を前提とした地域での体験学習の再構築【重点4】

※ ふるさと学習の例

1年	牧場見学
2年	檜下地区探検
3年	そば作り体験
4年	横川堰見学
5年	米作り体験
6年	金山峠越え

校内研究

研究主題

共に学びを追究する
～おもいをつなぐ授業の創造～

研究の重点

児童の「学び」を見取り、
おもいをつなぐ

働き方改革

◇教職員の意識改革

- ・ワーク・ライフ・バランスの意識化

◇業務・取組の改革

- ・定時退校日の設定
- ・適切な出退勤管理
- ・校務DXの推進

◇時間設定・使い方の改革

- ・適切な時間管理
- ・会議提案・協議の工夫
- ・水曜の職員終会設定

心身の健康管理

- ・健康診断と精検受診の徹底、受診時間の確保
- ・ストレスチェックによるメンタルヘルスの向上
- ・メンターやメンターチームによる支え合う環境・関係づくり
- ・必要に応じた個別面談

保護者・家庭との連携

- ・基本的な生活習慣の確立と運動の機会確保
- ・読書習慣づくり
- ・家庭学習習慣の確立
- ・**学校運営協議会を活用した地域との連携**
- ・安全を確保したうえでふるさと学習の再構築
- ・各地区公民館活動との協力・連携
- ・小中連携の充実

OJTの活性化

- ・各研修への積極的派遣
- ・教職員人事評価・面談の活用と充実
- ・校内現職研修(含倫理委員会)の充実
- ・**同僚性の構築**
- ・教科担任制の活用
- ・複数での情報共有と児童理解の促進
- ・職員の心理的安全性の向上(OJTの活性化)

危機管理等

事故・不祥事を防ぐために

- ・危機管理マニュアル、チェックシートの活用
- ・適切な情報提供と収集